

令和8年 第1回白馬村議会定例会、予算特別委員会審査報告

本定例会において、予算特別委員会に付託された案件は、予算審議5件です。5日間にわたり審査いたしました各会計の予算書及び関係資料により、慎重審査した概要を報告致します。

議案第33号 令和8年度白馬村一般会計予算

予算規模は**73億2,200万円**、前年度当初予算比**2億3,200万円**の増で、1997年度以降で最大の規模。

基幹歳入の**村税**は**20億1,800万円**で昨年度比**4億2,400万円** (26.6%) の増で、新年度新たに課税する宿泊税は**1億4,400万円**、個人村民税の現年度分が**1億6,900万円**の増、非木造家屋の建設等で固定資産税は**1億100万円** (10.4%) の増、その他入湯税なども増額。

地方交付税は**15億5,000万円**で村民税、固定資産税などが増額となっているため**3億6,600万円** (19.9%) の減額。

国庫支出金は前年比**7,500万円** (14.3%) 増の**6億300万円**で、子育て支援施設建設事業や障がい者自立支援給付負担金、児童手当国庫交付金が主な内訳。

県支出金は県宿泊税徴収取扱費、宿泊税事業補助金、給食費負担軽減交付金等で前年比**2,800万円**増額の**4億1,200万円**。

寄付金は**5億2,200万円**、**繰入金**は**5億1,200万円**で、それぞれ昨年比では減額。

村債は子育て支援施設建設、ごみ処理施設建設に係る北アルプス広域連合負担金、多目的研修施設等のトイレ改修などに**4,700万円**増の**4億7,400万円**。

次に、各課審査の主な質疑、意見について報告します。

総務課

問歳入の**村税**は全体としても25%ほど増額、村民税が3割以上も増額予算であるが、その理由は。

答特別徴収分がかなり伸びており、給与のベースアップが影響していると思われる。また、譲渡の影響も考えられる。

問令和7年度の**当初予算70億円**に対し、既に補正予算で**77億円**に増額。令和8年度予算は令和7年度の補正後の予算よりも低い。補正予算で増額する可能性は。

答各省庁からの概算要求で実現されるものを見込んで算出。臨時交付金のように国の補正予算や消費税、食料品の消費税の関係は想定していないが、補正予算となることは十分考えられる。

問令和7年度は**1,000万円**だった**地域公社プロジェクト可能性調査委託料**が、新年度は**3,000万円**に増額になっているが、その内訳は。

答既存組織の統合整理による削減効果の調査や、地域の収益事業の調査・検証にかかる費用などとなるが、特に収益化できる事業を、ある程度しっかりとした形で動かしていけるよう実証・検証していく必要がある。そういった部分が増額。

問対象は振興公社と観光局だけなのか。

答ベースとしてはその2機関で現段階は考えている。

問地域通貨アルプス Pay の展望は。

答行政ホームページの中に専用サイトを作成済で、現在のチャージはコンビニの A T M だけだが、銀行口座との紐づけや、村民認証済の利用者にポイント還元が常に可能となる機能を検討中。来年度はボランティア活動参加者へのポイント付与、他のアプリやシステムとの連携などを検討し、加盟店も増やしていきたい。

問国では二重価格の指針を策定するという話がある。実際に二重価格を実施している自治体もあるとのことだが、「ふれ AI 号」に二重価格の導入は。

答地域通貨は住民優遇が大きな目的の一つであるので、事業者に理解・協力を得て二重価格の推奨で暮らしやすさを確保していきたい。

税務課

問宿泊税の賦課徴収に関して、徴収義務者の登録の遅れや登録漏れへの対処は。

答特別徴収義務者の登録期限は 6 月 8 日、課税は 6 月 1 日から。事業者の申告納付は 7 月 1 日開始で初回の申告は 3 1 日まで。登録状況だが 3 月初旬は 1 0 0 数件の登録件数であったが、シーズンがひと段落し最近は増加傾向。広報はくばの 3 月号に宿泊税のお知らせを掲載し、4 月には制度や電子申請の方法などの説明会を開催する。その通知に早めの登録の依頼文の掲載を予定。これまでの説明会への外国人参加者が少なかったのでオンラインでの配信、外国語の宿泊税の手引きも同時に作成・配布を予定。

要望事業者を訪問し登録依頼も必要だが、まずは徹底的な告知をして欲しい。1 年目は 1 0 程度の事業者をピックアップして税務調査の実施も必要と考える。

住民課

問窓口業務のデジタル化で、業務自体が効率化されているのか。

答今回の予算計上の振り仮名の関係は、国の法整備に伴って内部システムを替えざるを得ないためのもの。デジタル化が進んでいく中での事務効率の向上だが、住民記録が行政サービスの根幹であるにも関わらず、システム連携ができない部分があり、同じ作業を繰り返す非効率的部分が生ずる。分野ごとでは技術の進歩と共に効率化できていると推察する。

問衛生費のごみ処理で、外国人観光客の増加でゴミの排出量も増えていると思われるが、事業系のごみの分別や出し方はどうか。

答地域やリサイクルセンターの方々に尽力してもらっており、実際に住民課に届くケースは限られている。リサイクルセンターを整備したことで、人を目を通してゴミが処分されているのでメリットは非常に大きい。

健康福祉課

問児童福祉給付金が昨年度より **7 0 0 万円**減額の理由は。

答第 3 の居場所の利用者が増加し、放課後デイサービス利用者が減っているため。

観光課

問 宿泊事業者DX補助金はもともと宿泊事業者が使用しているシステムの改修に限定されているが、月々の使用料に対する補助を検討できないか。

答 現制度では、新規のシステム導入は県、既存のシステムの改修は村に補助金を申請する形で、月々の使用料への補助はないため、県と調整、要望していきたい。

問 白馬村鉱泉源保護管理整備補助金は源泉の保護と捉えていたが、日帰り温泉施設への補助のように受け止められたので、詳しく説明して欲しい。

答 補助対象の「鉱泉源施設」とは、源泉ポンプ、抑揚ポンプ、貯蔵タンク等の温泉関連設備、並びに送水ポンプ、タンク、ボイラー、維持管理用車両など配湯関連設備を有する施設で、令和6年度収入済額 **5,500万円**の45%、**2,500万円**を補助の上限として補助。

問 バックカントリーでの遭難事故が発生したが、再発防止のための啓発費用は予算化されているか。

答 村の予算の計上はないが、ハクババレーツーリズムがセイフティーチップスなど安全啓発を行っており、ハクババレーツーリズムへの負担金はその一部として支出されている。

農政課

問 農業機械等導入補助金だが、農業認定者と一般農業者の違いは。

答 補助金は認定農業者と新規就農者が対象で、一般農業者との違いは、認定農業者は国の制度があり白馬村の再生協議会で条件に合致した人が認定農業者として申請した場合、1期5年間で認定される。面積的要件はないが、農業所得を5年間で**350万円**の目標を達成する必要がある。

問 国が推進するウッドチェンジとは何か。

答 林野庁が推進している身近なプラスチックから木材に替えていこうという運動である。

問 有害鳥獣対策事業に関連して、冬季の外国人観光客がエサをあげているのを目撃したという情報があった。エサを与えないで欲しいといった周知にもう少し力を入れて欲しい。

答 一度でもエサを与えてしまうと覚えてしまうため、引き続き広く浸透させていくために力を入れた広報の必要性を実感している。

建設課

問 除雪委託料が昨年とほぼ同額で、不足すると見込まれるのになぜ当初予算額を増額しないのか。

答 例年この額で予算化している。除雪費はどうしても確実な特定財源が見込めないため、当初から大きな予算を組めない。不足する額は降雪状況を見ながら補正予算で対応している。

問 道路台帳デジタル化事業のGISサーバーは物理サーバーを設置予定か。

答 庁内にあるサーバーは新システム導入で容量不足が見込まれる。また、現在のサーバーのリース期限が近づいてきているので、補助申請し新たに設置していくもの。

問 住民が閲覧できるのはいつからか。

答 道路台帳は1年後を予定し、他は全体の進捗を見ながら公開する予定。

問 公開型GISシステムに、農業用水路をデータとして取り込むのはどうか。

答 KPIで「サービス利用者の満足度」という項目があるので農政課と検討してみたい。

問 持続可能なまちづくり形成事業は交付金事業であるか。

答 村の単独事業で、目的が明確でなかったため有識者に委託する予算を計上。事業の方向性が見えないため交付金事業として申請できなかった。

要望 国のSDGs 未来都市事業のモデル事業で採用されれば支援が得られる。白馬村は環境保全や地域開発に課題があるので交付金をもらいながら事業を進めて欲しい。

会計室

問 DX化による納付方法の変化は。

答 口座振替のほかに窓口納付やコンビニ収納、さらにはタブレット端末を使ったクレジット収納も始まっているが、今後、タブレット端末を使ったクレジット納付が増加するのではないかと考える。

教育課

問 白馬高校支援の財源内訳だが、県からの補助金がなく、予算書の上ではふるさと基金と村からの負担のみに見えるが。

答 白馬山麓事務組合の事業であるため、そこへ村が負担金を支出している。令和7年までは多額の国の交付金があったが、それが終了したため、県から寮の費用の一部を負担してもらえることになっている。令和9年ぐらいまでは現在の財源と国の支援で運営可能だが、その先の財源は検討する必要がある。

問 資格検定料補助金 50万円は何人分か。また合格者に限定している理由は。

答 受験実績から100名ぐらいを想定。今回は合格者のみへの補助で、補助率は1/2。中学校との協議で英検と数検は、4級以上の合格者。

問 検定は学校での集団受験、それとも個別で他の会場へ行って受験しているのか。

答 学校で行なうには人数が集まらなければできない点や、学習意欲を上げるために検定の種類を増やして欲しいとの要望が中学校からあった。学校長が認めた試験日、試験会場での受験も対象。財源的に厳しいため、継続させていくためにも合格者に限定した。

問 小学校のスクールバス運行だが、冬に乗車を希望する中学生もいると聞く。遠距離通学補助金はスクールバス運行との兼ね合いで基本的には出さない方向とのことだが。

答 基本的には小学校をベースに考えており、6月から3月までの9ヵ月間の運行で、中学校は自転車通学だが、冬季の部活動によって神城の生徒は電車の待ち時間が1時間以上出てしまうのでバスで送迎。北城は落倉の生徒をバスで送迎、野平と嶺方の生徒は、冬季のみタクシーで行なっている。

子育て支援課

問 子育て支援施設の総事業費 11億5,000万円は、3か年の継続工事を来年度に一括発注する方向とのこと。工事請負契約書第26条にスライド条項があるが、工事費が上昇した場合はこの条項を適用するのか。

答 部材の高騰は予想されるが、現時点の予算の中では見込んでいないため、スライド条項を適用する可能性はある。債務負担行為の限度額が不足する場合は、修正が必要である。

問 保育士移住支援事業補助金は大変いい補助金と考えるが、実績は。

答 令和7年度には正規職員の応募があったが辞退となり実績はゼロ。県に対しての拡充要望は引き続き行う。

問公務員の場合は給料表に従わなくてはならない。生活のことを含めて、南方を希望する人もいると聞く。移住定住以外の優遇はできないのか。

答保育士の働き方改革を現在も進めており、効率的に仕事ができるようアプリの導入や、制作物や行事の見直し、さらに保育士のリフレッシュ休暇も試みている。賃金も大事ではあるが、風通しの良い職場づくりが第一だと考えている。また、SNSでの情報発信も3月から開始。保育士不足は現在の保育士志望者の少なさも影響している。保育士資格の保持者が保育士として働いていない理由は、処遇改善や給与面で他業種との差があるとの意見もあった。未満児を預けて職場復帰する需要が高まっており、特に未満児の待機児童を少なくする努力はしているが、解消できない状況である。

生涯学習スポーツ課

要望ジャンプ競技場はナショナルトレセンの指定を受けてはいるが、村内のジャンプ選手が増えない。あれだけの施設があるので、ジャンプをする子どもたちが増えるよう、イベントの開催に向けて努力して欲しい。

問図書館費の予算に変動がない。他自治体の図書館では、住民や子ども向けのイベントをよく開催しているが、白馬村はやっていないが。

答図書館はマンパワー不足が現状。DVD上映や読み聞かせ、自由研究に役立つ本の特集コーナーや遊び学びフェスやストリートフェスなどイベントでのブース設置なども行っている。現在、次期図書館基本計画を策定中で関係団体を増やして、こちらから出向いていけるイベントの増加を5年間の取り組みとして検討中。

問文化財保護費に関して、グリーンスポーツにある歴史民俗資料館には貴重な所蔵品があるので、もっと対外的に魅力的な宣伝を工夫して欲しいが。

答令和7年度から歴史民俗資料館を加えた文化財のスタンプラリーを企画し、来館した観光客がいた。

要望村内では無計画に開発が進んでいる箇所が散見され、この地の象徴的な建物が今後維持されるのかと心配される。村として観光活用・保存を検討してもらいたい。

問氷河調査に関する調査状況、またその結果後の対応は。

答白馬沢の調査は結果待ちで、認定されれば報告会を予定している。ネット上のマップへの反映、観光的な看板設置などを担当課としては考えている。氷河を使った特産品や、ふるさと納税の返礼品などが考えられる。「山とスキーの総合資料館」にも詳しい資料があるのでぜひ見て欲しい。岩岳の山中にも案内を出すなど、氷河として承認されれば、観光面は担当課に繋げていく。

課ごとの討論及び全体討論でも討論はなく、採決の結果、議案第33号は、委員長を除く委員全員の賛成により、原案のとおり可決すべきものと決定。

議案第34号 令和8年度白馬村国民健康保険事業勘定特別会計予算

予算規模は**10億5,140万円**、前年度比**8,300万円**の減、国保税は**2億9,690万円**、
県支出金**6億3,890万7,000円**、一般会計繰入金**1億662万1,000円**、
歳出の保険給付費は**6億3,346万3,000円**を計上との説明。

問**7,300万円**も多く収入が増え、保険給付費は19%弱の減少になる。税が増えて給付金が減る計算

だが、積立金が増額にならない理由は。

答国民健康保険税は、ある対象者の所得等が増えた部分と税率改定で金額が大きく増えた。保険給付費の減額は、今年度中の保険給付費を基に翌年度の予測を立てるが、高額医療の対象が増えれば、金額の大きな変動もあり得る。積立は最終的に決算の際に余剰があれば行う予定。

討論はなく、採決の結果、議案第34号は、委員長を除く委員全員の賛成により、原案のとおり可決すべきものと決定。

議案第35号 令和8年度白馬村後期高齢者医療特別会計予算

予算規模は**1億8,060万円**、前年度比**3,750万円**の増、歳入の保険料は**1億4,560万円**、一般会計繰入金・保険基盤安定繰入金併せて**3,455万3,000円**、歳出の広域連合負担金は**1億7,524万3,000円**を計上との説明。

質疑、討論はなく、採決の結果、議案第35号は、委員長を除く委員全員の賛成により、原案のとおり可決すべきものと決定。

議案第36号 令和8年度白馬村水道事業会計予算

水道事業収益は**4億1,620万9,000円**で、前年度比**2,204万6,000円**の増。

水道事業収益では、営業収益は昨年度比**1,288万円**減に対し、営業外収益で官民連携等基盤強化事業推進交付金、DX推進事業交付金などで国庫補助金**4,039万円**の増額。

有収率向上と老朽化対策では、排水管布設替工事4か所に**9,093万円**、駅前無電柱化に伴う工事に**2,065万円**、流量計19か所の点検業務。物価高騰対応生活者支援事業では国の補助金を活用し5月6月分の水道基本料金**2,400万円**を減免。令和6、7年の官民連携可能性調査の結果を受け、官民連携のDB（設計・施工）事業者選定・発注支援業務委託料として**1,763万円**。経理事務効率化のために企業会計システム・料金システムの置換を実施。そのシステム構築に**2,043万円**を計上。

問経営事務効率化のシステムのリプレースの利点は。

答現システムのサポート体制では、人事異動後の業務が非常に大変な状況。将来的な人員を考慮した際、サポート体制は重要であると考え今回導入を決断した。

討論はなく、採決の結果、議案第36号は、委員長を除く委員全員の賛成により、原案のとおり可決すべきものと決定。

議案第37号 令和8年度白馬村下水道事業会計予算

下水道事業収益は**5億449万7,000円**。

下水道事業費用は**5億119万6,000円**。資本的収入は**7億7,225万1,000円**で下水道事業債及び国庫補助金の増額により、昨年度比**3億669万8,000円**の増。

資本的支出は**8億2,260万6,000円**で、昨年より**2億8,697万4,000円**の増額となっており、工事請負費でし尿等投入施設整備土木工事の**3億9,903万円**が主なもの。

討論はなく、採決の結果、議案第37号は、委員長を除く委員全員の賛成により、原案のとおり可決すべきものと決定しました。

以上で、予算特別委員会の委員長報告を終わります。